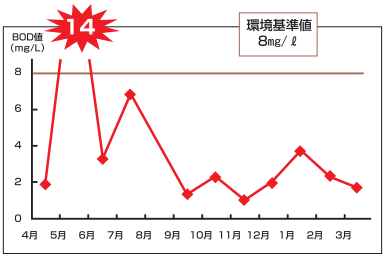
雄樋川（ゆうひ）

雄樋川は、南城市大里にある大城ダム（農業用ダム）を源流として、玉泉洞の西側を流れて、八重瀬町具志頭の港川漁港へ注ぐ川です。

雄樋川データ
◆川の長さ・・・・約2.5km
◆流域面積・・・・・約13㎢
※二級河川指定区間：★～★
［出典］二級河川指定一覧表/沖縄県土木建築部

川の汚れの原因はなに？

上流の石川橋と下流の前川では、ずいぶん川の様子が違うようです。
では、上流が汚れている原因ってなんでしょう？



雄樋川の水質（BOD）測定結果（沖縄県文化環境部/平成20年度）

生活排水

各家庭から出る生活排水が、川の汚れの大きな原因となっています。各家庭には、生活排水を浄化するための「浄化槽」が設置されていますが、多くの家庭で定期的なメンテナンス（点検・清掃）がされず、生活排水が浄化されないまま、垂れ流しになってしまっているのが現状です。

畜舎排水

左のグラフは、上流の石川橋におけるBOD値の一年間の測定結果です。普段のBOD値は2～3mg/ℓ程度ですが、突然汚れのピーク（BOD14mg/ℓ）が現れます。その原因の一つに、畜舎排水が不法投棄された可能性が考えられます。

畜産業が盛んな南城市・八重瀬町は、畜舎排水を適切に管理し、川を汚さないように努力している畜産業者が数多くいますが、その一方で、畜舎排泄物を不法投棄したと考えられる形跡が見つかっており、一部の心ない人たちの行動が、雄樋川を汚してしまっているのです。

畜舎排泄物によりよごれた川

BODとは(Biochemical Oxygen Demand)
水中の有機物が、微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で、川の汚れの程度を表します。数値が高いほど、水が汚れていることを示します。

環境基準とは
環境基本法に基づいて人の健康保護と生活環境保全のために維持することが望ましい基準のことです（場所によって基準値が異なります）。

川をきれいにするために がんばっています！

あなたの一歩が、明日への川づくり 雄樋川クリーンアップ作戦

雄樋川をきれいにするために、雄樋川環境保全推進協議会（南城市、八重瀬町）では、毎年1回「雄樋川クリーンアップ作戦」を実施しています。「あなたの一歩が明日への川づくり」をモットーに、雄樋川の流域である南城市や八重瀬町の住民のみなさんや各事業所に声をかけて、雄樋川の両岸の清掃やゴミ拾いを行っています。（写真提供:八重瀬町）

これは雄樋川のほんの一部です。クリーンアップ作戦に参加したり、川に沿って散歩してみたり。雄樋川のまた違う顔が見れますよ。さぁ、でかけよう！

編集:沖縄県文化環境部環境保全課　平成21年3月印刷